経管栄養（胃ろう：半固形）

医療的ケア実施マニュアル

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名（性別） | 　　　　　　　　　　　　（　　　　　　） | 学年 |  |

【準備・手順】

|  |  |
| --- | --- |
| 実施内容 | 経管栄養（胃ろう：半固形） |
| 実施手順 | 留意事項 |
| 必要物品 | ※手洗いをし、必要物品を準備する。半固形栄養剤　白湯　薬　お湯と入れ物（栄養剤などを温めるため）接続チューブ　カテーテルチップ型シリンジ〔注射器〕（以下、シリンジという）　乳鉢　乳棒　ストップウォッチ　ペーパータオル　手指消毒剤 |
| 準　備 | 1. 必要物品、半固形栄養剤、薬の確認をする。
2. 手を洗う。（石けん、あるいは手指消毒剤）
3. 半固形栄養剤を容器にうつして常温から人肌程度に温める。
4. 薬の準備をする。

・乳鉢に乳棒を入れ熱いお湯を満たして除菌し　た後湯をすて、水分をペーパータオルで拭き取る。・乳鉢に薬を入れ、乳棒ですりつぶす。・白湯（　　）mlに薬をとかし、シリンジに入れておく。余分にシリンジがある時は、服薬後の流しの白湯（　　）mlをもう一つのシリンジに準備しておく1. 体調や状況に応じ、姿勢を整える。
2. 接続チューブのクレンメを閉める。
3. 胃ろうボタンの差込み位置に印を合わせ、ボタンを横から指でしっかり保持して接続チューブを差込み、止まるまで回転させる。
 | ・薬剤、栄養剤が本人のものであることを確認する。（主治医から指示された内容）・服薬は、依頼があった場合は看護師が実施する。・再度薬が本人のものか、薬品名、投与時間、量、投与方法の確認をする。※胃ろうボタンと接続チューブを接続および外すときは看護師が立ち合い確認する・胃ろうや胃ろう周囲の皮膚に、もれ、発赤、ただれ等がないか確認する。 |
| 実　施 | 1. 胃内容物の確認

・シリンジを栄養チューブにつなぎ、胃の内容　物と性状を確認する。・内容物を胃に戻す。1. 服薬

・シリンジを接続チューブにつなぎ、準備した薬剤を注入する。（注入時、シリンジとチューブの接続部をおさえ、薬がつまらないよう攪拌しながら注入する）・服薬後、流しの白湯（　）mlで流す。1. 栄養摂取

・接続チューブに半固形栄養剤を準備したシリンジを接続する。・開始を本人に伝える。・（　）時間程度で終了できるようにする。・接続チューブに白湯（　）mlを流す。・胃の内容物がもれないよう接続チューブを　外し胃ろうボタンのふたを閉める。・注入終了を本人に伝える。 | ・内容物に痰や血点が混入している場合は破棄する。・胆汁が混入している場合の対応は　保護者と相談しておく。・消化の状態がよく、内容物が（　）　ml未満の場合は全量注入する。・内容物が（　）ml以上（　）ml未満の場合は、胃の中に戻した内容物と合わせて（　）mlになるようにする。・内容物が（　）ml以上の場合は、　保護者に連絡して栄養摂取を中　止する。（最後まで内容物を引く　か引かないかを保護者に確認し　たうえで内容物を胃に戻す）・服薬は、注入前に再度本人のものであることを確認する。・注入中の状態を観察する。・注入物の逆流などによる咳込み、嘔気など苦しそうな表情はないか。症状があるときは、注入を一時中止し、落ち着くまで様子をみる。・ガーゼが汚れているときはカーゼ　交換する。 |
| 終　了 | 1. 片付け

・摂取後は、（　）分程度安静にする。・シリンジなどを水で洗う。 | ・注入終了後も呼吸、嘔気嘔吐に注意する。 |

【緊急時対応】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| トラブル | 保育士（教員）の対応 | 看護師の対応 |
| 胃ろうボタンが腹部から抜けそうになった場合 | ・看護師に報告する。 | ・看護師がガーゼ等で胃ろう部を保　護し、保護者へ連絡する。 |
| 胃ろうボタンが腹部から抜けた場合 | ・看護師に報告する。・ガーゼ等でろう孔を保護する。 | ・保護者へ連絡する。・外れた胃ろうボタンは、病院受診　の時に持っていくため、ガーゼで　包んで清潔を保つ。* 病院　　医師を受診する。
 |

【緊急連絡先】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＜連絡先＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 保護者氏名 | （母）　　　　　　　　　　　　（父）　　　　　　　　　　　 | －　　　　－－　　　　－ |
| 主治医 | 　　　　　病院（小児科）　　　　　　　Dr | －　　　　－ |
| 救急搬送 |  |
| その他 |  |

（作成日）　令和　　　年　　　月　　　日

（作成者）

（保護者署名）